

「ロータリーの友月間」を新設します

2月号の本欄「ロータリーの特別月間が変わります」というタイトルで、本年7月に始まる新年度からの新しい月間について紹介しました。ご存じのように、新しい月間の中には「雑誌月間」は入っていません。ですから、前述の記事の中で、「ロータリー地域雑誌の編集者としては、『雑誌月間』や『ロータリー理解推進月間』がなくなるのは少し寂しい気がしますし、心配でもあります」と書いたところ、多くの方から『雑誌月間』は残せないでしょうか」といった声をお寄せいただきました。

その件について、ロータリーの友委員会ならびに同理事会で検討し、「ロータリーの友月間」を新設することになりました。したがって、これは国際ロータリー(RI)で定める月間ではありません。「雑誌月間」ではなく、「ロータリーの友月間」としたのは、雑誌の一般的なことではなく、『ロータリーの友』に焦点を当てることによって、『友』誌のことと併せ、さまざまなロータリー情報について知っていただく機会になれば、と考えたからです。

「ロータリーの友月間」は9月になります。これまで通りの4月、『友』誌が創刊された1月など、候補はいろいろありましたが、大事なロータリー情報の取り方は年度が始まってできるだけ早い時期がいいだろうという意見に従って、9月に設定しました。

2月号にも書きましたが、「米山月間」はこれまで通り10月で、同月間もRI定めたものではありません。9月、10月と日本独自の月間が続きますが、日本の地域性を生かした活動を考える良い機会になればと思います。

RIでは、近年の公共イメージ向上のための活動の中で、イメージの統一ということを積極的に進めています。公式ロゴの変更をはじめ、出版物やホームページなどのデザインや色使いなどについても、ガイドラインを設けました。一方で、「地域性を大切にする」ことの重要性も理解し、ロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)には、メディアや広報の専門家として、統一したイメージの中に、地域性を出せるように支援するよう要求しています。

『ロータリーの友』のようなロータリー地域雑誌と呼ばれている雑誌は、全世界に31誌ありますが、そ

の中には、英語で発行されている雑誌もあります。もし、言語だけの問題なら、英語で発行する地域雑誌は不要ということになりますし、また、RI本部で発行している『The Rotarian』をそのまま翻訳して出版するだけで十分です。地域雑誌が出版されている大きな理由の一つが、地域の特徴ある活動をその地域のロータリアンが共有することにあると思います。また、『The Rotarian』の中からいくつかの記事をすべての地域雑誌にも掲載しているのは、全世界のロータリアンが共通して知っておかなければいけない情報があるということです。

新年度からのRIが指定した特別月間と日本独自の月間、それぞれがロータリーを知り、ロータリーのさまざまな活動を推進するよう、両立することを願っています。また「雑誌月間」から「ロータリーの友月間」と名前を変えた月間に、どのような活動をすればいいの、皆さまのアイデアをいただけることをお待ちしております。新年度からの月間は下記の通りです。

8月 会員増強・拡大月間

9月 基本的教育と識字率向上月間

ロータリーの友月間

10月 経済と地域社会の発展月間

米山月間

11月 ロータリー財団月間

12月 疾病予防と治療月間

1月 職業奉仕月間

2月 平和と紛争予防／紛争解決月間

3月 水と衛生月間

4月 母子の健康月間

5月 青少年奉仕月間

6月 ロータリー親睦活動月間

(青字は、日本独自の月間)

『友』編集長 二神 典子

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

ロータリーの友月間